授業科目名・形態	介護の基本Ⅳ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野　修	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	W3-2012c				

【授業の主題】

尊厳と自立を支えるケアの実践のための対象者の理解と，その対象者にとって必要とされるニーズを考えていきます。また，介護を必要としている人の生活ニーズを踏まえ，その人らしさを支えるためのサービス提供方法についても学んでいきます。

【到達目標】

1) 介護を必要としている人の生活の個別性や多様性，社会との関りを理解できる。
2) 介護を必要としている人の尊厳と自立を踏まえた利用者支援の方法を理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　生活とは何か，生活システムとは，生活の要素と特性
第 2 回　生活行動と多様化するライフスタイル，老いと幸福な生活
第 3 回　介護福祉を必要とする高齢者の暮らし
第 4 回　介護福祉を必要とする障がい者の暮らし
第 5 回　その人らしさの理解　（グループワーク）
第 6 回　生活ニーズの理解
第 7 回　生活のしづらさへの支援、家族介護者への支援
第 8 回　利用者の生活を支えるしくみ①　（サービスとは）
第 9 回　利用者の生活を支えるしくみ②　（フォーマルサービスとインフォーマルサービス）
第 10 回　事例から考える利用者サービス①　（グループワーク）
第 11 回　事例から考える利用者サービス②　（グループワーク）
第 12 回　事例から考える利用者サービス③　（グループワーク）
第 13 回　事例から考える利用者サービス④　（グループ発表）
第 14 回　諸外国からみる福祉サービス，地域連携と福祉サービスの今後の展望
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

基本的に演習形式で行うので，主体的に取り組んでください。また，第 10 回～第 13 回はグループでの課題学習とその成果を発表してもらいます。そして，グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容を踏まえ，予習および復習を毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

人間の理解Ⅰ・Ⅱ，介護の基本Ⅲ，社会保障論Ⅰ・Ⅱ，社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ，障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座　介護の基本Ⅱ　中央法規出版

【参考文献】

福田志津枝，古橋エツ子：私たちの生活と福祉　第 4 版，ミネルヴァ書房

【成績評価方法】

筆記試験 60%，課題レポート提出物および演習への取り組み等 40%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院等で多くの高齢者への看護の経験を積んできました。その経験を生かして，医療職と連携して介護福祉士の専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思います。

【学生へのメッセージ】

グループワークも取り入れながら介護の対象となる人への理解を深め，対象者が幸せに生きていくためのサービスや個別的な支援方法についても一緒に考えていきましょう。